

落札者となるべき同価の入札が2者以上ある場合の くじ番号による決定方法（自動決定方式）

【電子入札の場合】

1. くじ番号

くじ番号は、入札参加者が電子入札システムにより入札書を送信する際に発番される電子くじ番号とします。ただし、入札参加者が紙入札への移行承認を受け、紙により入札書を提出する場合のくじ番号は、開札時に電子入札システムに入札金額を登録した際に発番される電子くじ番号とします。

なお、電子くじ番号は、入札書を電子入札システムが受信した時刻のミリ秒（1ミリ秒は1000分の1秒。）により決定されます。

2. 入札順位

落札者となるべき同価の入札者の入札順位は、受領した入札書の早い順に0（ゼロ）から、1、2、3・・・と番号を割り振り、そのうち同時刻の受領があった場合は申込順とします。

なお、入札参加者が紙入札への移行承認を受け、紙により入札書を提出した場合は、長崎市建設工事等入札参加資格者名簿（長崎市上下水道局発注の場合は、長崎市上下水道局建設工事等入札参加資格者名簿）の登録番号の小さい者から順に電子入札システムによる入札書提出者の最後尾から番号を割り振り、登録します。

3. 落札者の決定

(ア) くじ番号の合計を落札者となるべき同価の入札者の人数で割ります。

(イ) 入札順位が上記で得られた数字と同じ者が落札者となります。

〔例〕	(登録番号)	(会社名)	(入札金額)	(くじ番号)	(入札書登録日時)	(入札区分)
電子による参加者は入札書登録順	0100	A社	1,000,000円	132	2/23 10:00	電子
	0050	B社	1,000,000円	573	2/24 13:00	電子
	0008	C社	1,900,000円	979	2/24 14:00	電子
紙による参加者は名簿登録番号順	0150	D社	2,100,000円	410	2/24 15:00	紙
	0170	E社	1,000,000円	293	2/24 16:00	紙

※ A社、B社及びE社が同額

①同価となった入札参加者に、入札書を受領した順（紙入札への移行者は名簿登録番号順）に0（ゼロ）から番号を割り振る。

(会社名)	(入札書登録日時)	(登録順)	(入札順位)
A社	2/23 10:00	→ 1番早い	→ 0
B社	2/24 13:00	→ 2番目に早い	→ 1
E社	2/24 16:00	→ 紙入札	→ 2

②同額となった3者のくじ番号により算出した合計を、同価となった入札参加者数で割り、余りを算出する。

$$132 (A社) + 573 (B社) + 293 (E社) = 998$$

$$998 \div 3 = 332 \dots \underline{2 (余りの数)}$$

②により算出した余りの数が2のため、①で2の番号を割り振られたE社が落札者となる。（仮に余りの数が0の場合はA社、1の場合はB社といった結果となる。）

【電子入札以外の場合】

1. くじ番号

- (ア) 入札参加者はあらかじめ3桁以内の番号（くじ番号）を決めておき、入札時に提出します。
4桁以上のくじ番号を記載していた場合は下3桁をくじ番号とし、くじ番号の記載がない場合は999を割り当てます。
- (イ) くじ番号は、入札において添付が義務付けられている「工事（業務）費内訳書」の所定の欄にくじ番号を記載することとします。

2. 入札順位

- (ア) 落札者となるべき同価の入札者の入札順位は、長崎市建設工事等入札参加資格者名簿（長崎市上下水道局発注の場合は、長崎市上下水道局建設工事等入札参加資格者名簿）の登録番号の小さい者から順に0（ゼロ）から、1、2、3・・・と番号を割り振ります。

3. 落札者の決定

- (ア) くじ番号の合計を落札者となるべき同価の入札者の人数で割ります。
- (イ) 入札順位が上記で得られた数字と同じ者が落札者となります。

〔例〕	（登録番号）	（会社名）	（入札金額）	（くじ番号）
	0008	C社	1,900,000円	979
	0050	B社	1,000,000円	573
	0100	A社	1,000,000円	132
	0150	D社	2,100,000円	410
	0170	E社	1,000,000円	293

名簿登録順

※B社、A社及びE社が同額

- ①同価となった入札参加者に、名簿登録順に0（ゼロ）から番号を割り振る。

（会社名）	（登録番号）	（入札順位）
B社	→ 0050	→ 0
A社	→ 0100	→ 1
E社	→ 0170	→ 2

- ②同額となった3者のくじ番号により算出した合計を、同価となった入札参加者数で割り、余りを算出する。

$$573（B社） + 132（A社） + 293（E社） = 998$$

$$998 \div 3 = 332 \dots \underline{2（余りの数）}$$

- ②により算出した余りの数が2のため、①で2の番号を割り振られたE社が落札者となる。
（仮に余りの数が0の場合はB社、1の場合はA社といった結果となる。）